

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年7月27日
【四半期会計期間】	第54期第1四半期（自 2020年3月16日 至 2020年6月15日）
【会社名】	株式会社カワチ薬品
【英訳名】	CAWACHI LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河内 伸二
【本店の所在の場所】	栃木県小山市大字卒島1293番地
【電話番号】	0285(37)1111
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小松 順嗣
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市大字卒島1293番地
【電話番号】	0285(32)1131
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小松 順嗣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第1四半期連結 累計期間	第54期 第1四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自2019年 3月16日 至2019年 6月15日	自2020年 3月16日 至2020年 6月15日	自2019年 3月16日 至2020年 3月15日
売上高 (百万円)	64,937	73,757	270,313
経常利益 (百万円)	1,057	3,394	6,573
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	686	2,160	3,822
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	672	2,181	3,821
純資産額 (百万円)	92,281	95,881	94,699
総資産額 (百万円)	185,900	197,996	188,190
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	30.14	96.91	170.36
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	30.11	96.85	170.23
自己資本比率 (%)	49.6	48.4	50.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2020年3月16日～2020年6月15日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に経済活動が停滞する動き等もあり、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。個人消費につきましては、将来の各種負担増に加え経済活動停滞等による経済の下振れリスク懸念が高まる中、緊急事態宣言下における不要不急の外出自粛や在宅勤務及び休校等の影響により生活費負担は増加する等もあり、節約志向は一段と高まりました。一方、新しい生活様式への対応から予防関連商材は堅調に推移するとともに、在宅等による生活必需品等への需要や内食需要は増加する等の傾向となりました。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、競合各社の出店増に加え、異業種・異業態間における価格競争の熾烈化が続く等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような中、当社グループにおきましては、有事における小売業としての使命を果たすべく、その機能強化に努め、医薬関連商材や生活必需品等の商品の集荷及び供給に努めてまいりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの店舗数は、計339店舗（内、調剤併設116店舗）出退店無）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は737億57百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は31億40百万円（前年同期比279.1%増）、経常利益は33億94百万円（前年同期比220.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億60百万円（前年同期比214.6%増）となりました。

また、当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,979億96百万円（前期末比98億6百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は1,021億15百万円（同86億24百万円増）となりました。これは主に買掛金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は958億81百万円（同11億81百万円増）となりました。

以上の結果、自己資本比率は48.4%（同1.9ポイント減）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,000,000
計	52,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年6月15日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	24,583,420	24,583,420	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	24,583,420	24,583,420		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年3月16日～ 2020年6月15日	-	24,583,420	-	13,001	-	14,882

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月15日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

(2020年6月15日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,286,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,292,200	222,922	-
単元未満株式	普通株式 5,220	-	-
発行済株式総数	24,583,420	-	-
総株主の議決権	-	222,922	-

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式には当社所有の自己株式92株が含まれております。なお、当第1四半期会計期間末の自己株式数は、2,286,155株となりました。

【自己株式等】

(2020年6月15日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カワチ薬品	栃木県小山市大字 卒島1293番地	2,286,000	-	2,286,000	9.30
計	-	2,286,000	-	2,286,000	9.30

(注) 当第1四半期会計期間において単元未満株式の買取が63株あったことにより、当第1四半期会計期間末の自己株式数は、2,286,155株となり、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、9.30%であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年3月16日から2020年6月15日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月16日から2020年6月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,105	46,955
売掛金	6,481	4,998
商品	30,633	30,627
貯蔵品	27	33
その他	5,569	4,039
流動資産合計	75,818	86,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,136	40,386
土地	50,282	50,282
その他(純額)	3,863	3,615
有形固定資産合計	95,282	94,284
無形固定資産		
その他	4,790	4,794
無形固定資産合計	4,790	4,794
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,175	8,142
その他	4,123	4,119
投資その他の資産合計	12,299	12,262
固定資産合計	112,372	111,341
資産合計	188,190	197,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,633	45,087
1年内返済予定の長期借入金	11,096	12,071
未払法人税等	1,762	1,225
賞与引当金	1,224	1,964
ポイント引当金	985	1,028
店舗閉鎖損失引当金	-	7
その他	6,862	6,814
流動負債合計	63,564	68,199
固定負債		
長期借入金	18,322	22,187
退職給付に係る負債	7,304	7,392
ポイント引当金	549	582
資産除去債務	2,728	2,737
その他	1,022	1,017
固定負債合計	29,926	33,916
負債合計	93,491	102,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,001	13,001
資本剰余金	14,885	14,885
利益剰余金	71,187	72,345
自己株式	4,434	4,434
株主資本合計	94,640	95,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	2
その他の包括利益累計額合計	18	2
新株予約権	77	80
純資産合計	94,699	95,881
負債純資産合計	188,190	197,996

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年6月15日)
売上高	64,937	73,757
売上原価	51,064	57,391
売上総利益	13,873	16,365
販売費及び一般管理費	13,044	13,225
営業利益	828	3,140
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	1	1
受取手数料	193	215
太陽光売電収入	58	58
その他	64	73
営業外収益合計	326	355
営業外費用		
支払利息	18	17
支払手数料	30	38
減価償却費	21	18
その他	26	26
営業外費用合計	96	101
経常利益	1,057	3,394
特別利益		
その他	24	-
特別利益合計	24	-
特別損失		
固定資産除却損	12	2
減損損失	-	151
その他	-	7
特別損失合計	12	161
税金等調整前四半期純利益	1,069	3,232
法人税等	383	1,072
四半期純利益	686	2,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	686	2,160

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年6月15日)
四半期純利益	686	2,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	20
その他の包括利益合計	14	20
四半期包括利益	672	2,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	672	2,181

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年6月15日)
減価償却費	1,099百万円	1,055百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月16日 至 2019年6月15日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月11日 定時株主総会	普通株式	1,026	45	2019年3月15日	2019年6月12日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年4月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式129,700株の取得を行い、その他、単元未満株式の買取りが31株、新株予約権の行使による減少が3,800株ありました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2億49百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が36億84百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月16日 至 2020年6月15日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月11日 定時株主総会	普通株式	1,003	45	2020年3月15日	2020年6月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月16日 至 2019年6月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月16日 至 2020年6月15日)

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年6月15日)
(1) 1株当たり四半期純利益	30円14銭	96円91銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	686	2,160
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益(百万円)	686	2,160
普通株式の期中平均株式数(株)	22,795,433	22,297,287
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	30円11銭	96円85銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	18,865	15,193
(うち新株予約権(株))	(18,865)	(15,193)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった 潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動 があったものの概要	2018年5月16日取締役会決議第 8回新株予約権(新株予約権の 数 1,860個)	2018年5月16日取締役会決議第 8回新株予約権(新株予約権の 数 1,770個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月27日

株式会社カワチ薬品

取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中野 敦夫 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中里 直記 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 三宅 清文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワチ薬品の2020年3月16日から2021年3月15日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年3月16日から2020年6月15日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月16日から2020年6月15日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワチ薬品及び連結子会社の2020年6月15日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。